

令和5年5月11日

生徒指導部通信 第3号

大阪府立吹田東高等学校 生徒指導部

生徒総会での議決を受けて ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

生徒総会は民主主義の実践練習

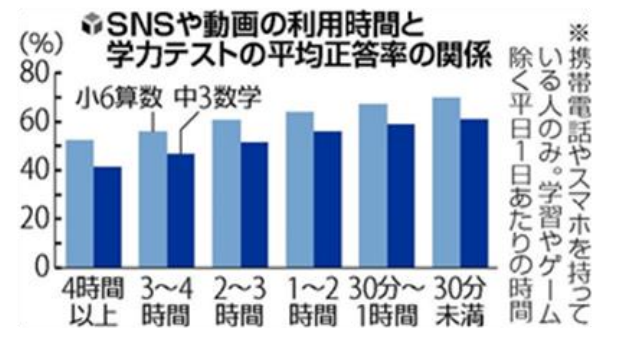
さらに議論を深めましょう

★★

初めての生徒総会は画期的なとりくみでした。ルール・メイキングの会の発議をもとに、自分たちの学校生活への願いや要求を、議案→討論→採決という民主的な手続きを経て、生徒全体の意志として練り上げていく、まさに「民主主義の実践練習」でした。ルール・メイキングの会のみなさん、生徒会執行部、また議論に参加して投票という形で意思表示をした生徒のみなさんに敬意を表します。みなさんの決議は「生徒の総意としての意見表明」として受け止めます。一方で、生徒の中に現状を肯定する意見もあることは忘れてはなりません。全体の意志で少数者の多様な声を排除することがあってはなりません。今後、学校はみなさんの「総意」を真摯（しんし：きちんとまじめに）に検討します。校則は「生徒の安全と安心のための学校生活」のためにあります。よりよい高校生活のための校則の在り方を、今後も生徒のみなさんや保護者の意見も踏まえながら慎重に検討していきます。学校の議論の経過は随時お知らせします。また、7月の終業式の際、中間報告の形で議論の経過を報告します。時間はかかるかもしれませんが、さらに議論を深めてほしいと考えます。ここで改めて「権利と責任」について強調しておきます。権利行使については責任が伴う。言い放しはいけません。なしくず的にルールを逸脱する生徒も残念ながらいます。今あるルールはしっかり守りましょう。

中間考査、がんばるには・・・

中間考査まで1週間をきりました。準備はすすんでいますか。考査は成績をつけることはもちろんですが、日ごろの学習の成果を確認するためにあります。目標(ゴール)を決めて計画的に学習しましょう。図は、『文部科学省が28日に公表した「全国学力・学習状況調査(全国学カテスト)」では、SNSや動画



視聴を行う時間が長いほど、各教科の平均正答率が低くなる傾向が浮かび上がった。』とする新聞記事(読売22年7月)のデータです。無くてはならないスマホ・SNSですが、近年、学習との関係で「集中力が落ちる」「記憶が定着しない」など問題点も指摘されています(アンデシュ・ハンセン著『スマホ脳』はベストセラーになっています)。人は同時に2つのことを選択することはできません(「トレード・オフ」の関係)。例えば2時間スマホを使うとすると、その2時間でできたはずの学習(英単語を20個覚えるなど)を捨てることになります。また、スマホを横において勉強すると通知音が気になりますね。人間の脳は常に新しい情報に気が向くようにできています。定期考査の期間中は、スマホの電源を切って勉強してみませんか。既読がつかなくても「勉強してるんだな」とお互いの励みにしましょう。記憶の定着には睡眠が欠かせないことも明らかになっています。一夜漬けの勉強は効果が薄いのです。スマホの特性を理解してスマホに振り回されない生活を意識してみませんか。考査、がんばってください。